

5月

ネットワークナース通信 vol.10

令和4年5月発行

どうしても自宅で！



平素は格別のご贔屓にあずかり、誠にありがとうございます。

5月は新緑の初夏、過ごしやすい季節となりました。今年の梅雨は如何なものでしょうか？10連休という会社もあるそうで、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言による規制から2年ぶりに全面解除となり、帰郷なさる方、海外旅行や国内旅行に久し振りに行かれる方も多いことでしょう。感染症は怖いものですが、感染予防し共生しなければ、生活も困難な状況です。高齢者や疾患のある方、子供たちを守るためにも引き続き皆さんで感染予防を行って参りましょう！私たちスタッフも皆様が安心して療養生活できる様、お手伝いをさせていただきます。

随時、スタッフを募集しております。在宅医療、訪問看護に興味のある方、一緒に働きたい方、推薦したい人をご存知の方、是非ご一報下さい。今後ともご声援、宜しくお願い申し上げます。

今回も事例紹介をさせていただきます！

今回は、『入院拒否。どうしても在宅で・わがママを叶えてくれて、ありがとう！』をご紹介したいと思います。ホームページも開設しております。『ネットワーク訪問ナースステーション』で検索すると、一番上に出きますので、是非覗きにきてくださると嬉しいです。今後ともよろしくお願い申し上げます。(橋井)



E様。97歳女性。現病歴：高血圧症・喘息。要介護1。長男同居。認知症なし。ADLは外出のみ介助。70代までは茶道や絵画、ゴルフとお友達も多く、活発、活動的な生活。最近までディサービスに通所していたが、倦怠感があり中止した。しっかりしているため、子供たちの言う事は全く聴かない。高齢でもあり、訪問診療と訪問看護師を利用したらどうかとケアマネさんが提案し、お元気ではあったが、軽いリハビリや医療相談で訪問開始となる。「自分のことは自分で、最後の最後まで子供に面倒はかけたくない。病院には行かない、検査も受けない。苦しくなく自宅で最期を迎えたい」と口癖。看護師と一緒に終活をはじめ、断捨離やエンディングノートも作り始めた。労作性の呼吸苦が酷くなり、主治医が検査を促すが拒否。コロナワクチン接種も拒否。3月初旬の週末深夜、寝室で転倒、自ら主治医に緊急コールで往診に来てもらうが、夜中に外の門や玄関を開錠し招き入れた。疼痛はあったもののセルフケアはできていたため様子観察となった。転倒から1週間も経たないうちに急変し、急性心不全・肺炎で呼吸苦を訴え、酸素療法・福祉ベッド導入し、疼痛コントロールと鎮静治療となった。病院で検査をと何度も促すが、「高齢で治療はいりません。自宅でただただ穏やかに、苦しいのだけ取って逝かせてください。」と同じ返事の繰り返し。全くベッドから動けないほど衰弱していったが、最期まで意識がはっきりとして、ご家族や私たちケアスタッフに自分思いをしっかりと伝え、ベッド上でお子さんを叱る事もある程、気丈に自分スタイルを貫いた。「いつもありがとう。私のわがママ叶えてくれてありがとう。最期までよろしくお願い致します。」と仰る。ご家族も1ヶ月弱、毎日熱心に介護し、ご本人を支え、旅立の準備も始められた。主治医の医療チームも夜間の緊急コールに随時対応くださり、4月12日昼前、子供たちと会話を終え、眠るように穏やかに息を引き取った。

棺には「眠れる森の美女」が沢山のお花に囲まれ、ご家族も「お母さん、とても綺麗ね。最期までお望み通りにして頂いたわよ」と笑顔で見送りました。在宅での疼痛コントロールや鎮静、夜間の看護等課題はまだ多いのですが、ご本人、ご家族の不安なく、医療従事者に繋がっているということで安心したと言って頂きました。また、高齢者のお看取りは暗いものではなく、誰でも通ることであり、準備し遺族が慌てないように、困らないように援助することも大切なことを感じます。高齢者だからこそ「死」は身近で、忌み嫌うことですが、残された人が後悔の無い様にと願います。



神経難病、認知症、精神疾患、がんターミナル、看護師によるリハビリ等を特に得意としております。悩んでいるご利用者に医療相談や訪問看護お



Facebook
ございます！



24時間
対応

ターミナルケア・お看取りも
対応いたします

訪問地域

世田谷区

松原・代田・代沢・豪徳寺・梅ヶ丘・宮坂・経堂・赤堤

杉並区

永福・和泉・浜田山・下高井戸

その他の地域もぜひご相談ください！



〒156-0043
東京都世田谷区松原2-41-15
エテルノ203
TEL:03-6379-0683
FAX:03-6379-0684

